

部局名	健康福祉部	所属名	健康福祉課	所属長名	樺田 高雄	電 話	483-1151 内線2210
-----	-------	-----	-------	------	-------	-----	-----------------

1. 事務事業の位置付け・概要（PLAN）

コード		3116		事務事業名称		厚生総務事業					短縮コード		経常	3116	臨時	3949	
予算区分		会計	01	一般会計		款	03	民生費		項	01	社会福祉費		目	01	社会福祉総務費	
区 分		☒ 自治事務 ☐ 法定受託事務 ☐ その他				根拠法令等		民生委員法、八千代市民生委員児童委員協議会規約、人権擁護委員法、船橋人権擁護委員会則、保護司法、習志野・八千代地区保護司会八千代支部規約、八千代市福祉バス運営要領 ○施策体系欄に書ききれなかったもの（細項目） 0 1 0 2 0 6 0 2 0 3 福祉意識の普及・啓発、 0 1 0 2 0 6 0 1 0 2 ボランティア活動の推進									
事業概要（事務事業を開始したきっかけを含めて記入）																	
社会福祉に関する総括的な事務。①民生委員法及び昭和4 4 年4 月施行の八千代市民生委員児童委員協議会規約による民生委員活動，昭和4 5 年6 月2 0 日船橋人権擁護委員協議会設立による人権擁護委員活動，習志野・八千代地区保護司会八千代支部規約による保護司活動，に対する支援 ②地域福祉サービスの充実を図るため、社会福祉事業を行う団体へのバスの貸し出し（福祉バス運営要領による） ③戦没者への供養を目的とした戦没者追悼式の開催（昭和3 9 年より実施）																	
事務事業を取り巻く状況の変化 又、今後の変化の推測 社会情勢の変化に伴い、市民からの相談業務も増加傾向にある。少子高齢化が進行する中で、地域住民のニーズを的確に把握していく必要がある。						総合計画の 施策体系	5本の柱（章）		01	健康福祉都市をめざして							
							大項目（節）		02	社会福祉							
							中 項 目		06	地域ぐるみ福祉							
							小項目（施策）		01	人材・団体等の育成と活動支援							
									02	地域福祉のネットワーク化							
							細 項 目		01	人材・団体等の育成							
									01	地域協力体制づくり							
実施計画の 計画事業		1213	地域福祉計画策定事業														
計画事業の位置付けの有無				☐	計画事業期間		～				計画事業費		千円				

2. 事務事業の目的・指標・実績（DO）

対象 （誰を何を対象にしているのか）		民生委員・人権擁護委員・保護司　社会福祉事業を行う機関及び団体　戦没者の遺族					
手段 （具体的な事務事業のやり方、手順、詳細）		※平成18年度に実際に行ったこと： ①民生委員・人権擁護委員・保護司に対する支援 ②社会福祉事業を行う機関及び団体へのバスの貸出 ③戦没者追悼式の開催					
		※平成19年度に計画していること： 18年度に同じ。					
意図 （何を狙っているのか）		社会福祉の充実・推進を図る。					
結果 （どんな結果に結びつけるのか）		自主的・主体的に福祉活動を推進できるようにする。					
区　分			単位	17年度	18年度		19年度
				実績	計画	実績	計画
対象指標	指標1	民生委員・人権擁護委員・保護司の人数	人	237	241	238	251
	指標2	市内戦没者遺族会登録者数	人	246	246	261	261
	指標3						
活動指標	指標1	行事回数	回	182	180	246	246
	指標2	戦没者追悼式案内状送付件数	件	324	350	321	321
	指標3						
成果指標	指標1	年間相談・支援件数	件	5,600	5,500	5,300	5,300
	指標2	戦没者追悼式における参列者数	人	96	96	99	99
	指標3						
上位成果指標	指標1						
	指標2						
	指標3						

コード	3116	事務事業名称	厚生総務事業				所属名	健康福祉課
今後の方向性	⑥この事務事業の今後の方向性を選択し、その詳細について右欄に記入する。	☒ 改革・改善して継続			戦没者追悼式については、遺族の意向への配慮から継続して行うべきであるが、遺族の高齢化等に伴い参列者数は減少していくものと思われる。式典の内容について、将来的には検討する必要がある。福祉バスの貸出は、民間委託しているため以前の「ふくし号」のような運行体制はとれないが、サービスの質の維持を図る必要がある。			
		☒ 手法プロセスの改革・改善						
		☐ 事業規模の拡大・縮小						
		☐ 統合・役割見直し						
	☐ その他							
☐ 廃止								
☐ 休止								
☐ 現状のまま継続								
	⑦この事務事業の今後の経費・成果の方向性について選択し、右欄に理由を記載する。			経 費			本事業は、社会福祉に関する総括的な事務を行っており、社会福祉活動を行う団体等に対して今後も継続支援等すべきものである。	
				削 減	不 変	増 加		
		成 果	向 上	☐	☐	☐		
			不 変	☐	☒	☐		
低 下	☐		☐	☐				

この事務事業に対する市民や議会の意見（担当者が把握している意見） ※内部サービス業務の場合は、住民ではなく、サービス利用者、関連部門の意見や実態など									
福祉バスの運行业務に関し、利用者等から運行日数の増加要望有り。									

所属長コメント	福祉バスの利用申し込みが増加しつつある。拡大は難しいため, 募集や決定などを検討していく。又、戦没者追悼式のあり様については、遺族会の意向も汲みながら時間をかけて検討していく必要がある。								
評価調整委員会意見	☒ 改革改善して継続			有効性向上の検討を行い順次推進していくべき。					
	☐ 手法プロセスの改革・改善								
	☐ 事業規模の拡大・縮小								
	☐ 統合・役割見直し								
☒ その他									
☐ 廃止									
☐ 休止									
☐ 現状のまま継続									